



ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 12 月 18 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

COP24 において小林副市長が横浜市 の取組を PR しました

12 月 2 日から 14 日にかけてポーランド・カトヴィツェで開催された国連気候変動枠組条約第 24 回締約国会議（COP24）に小林一美副市長が出席しました。



小林副市長は、日本パビリオンで開催された「脱炭素化時代の都市と地域（環境省・イクレイ主催）」セッション及び条約事務局公式会場で開催された「都市と地域への動機づけ（イクレイ・欧州復興開発銀行主催）」セッションなどに登壇し、横浜市が進める脱炭素化の取組を世界に向けてアピールしました。具体的取組の一事例として、アジア・スマートシティ会議についても紹介しました。

COP24 では、政府機関、自治体、企業、国際機関、研究機関、NGO 等の 1911 の機関から約 1 万 8 千人が参加しました。



アフリカの子どもの描く未来 ～「環境絵日記」の展示～

「アフリカのきれいな街プラットフォーム」の取組として、横浜市資源循環局・JICA・青年海外協力

隊が連携し、12 月 2 日に大さん橋ホールで開催された「環境絵日記展」にアフリカの子どもたちが描いた環境絵日記を展示しました。



現地アフリカでは、子どもたちと青年海外協力隊員の想いがたくさんつまった絵日記が 600 点以上も描かれました。当日は、実際にアフリカで活動した青年海外協力隊員が、現地の様子も交えて絵日記を説明したほか、現地で子どもたちと行った環境教育の実演として「ペットボトルけん玉」を行いました。また、来場者にアフリカの子どもたちに向けたメッセージを書いていただき、これから青年海外協力隊を通じてアフリカの子どもたちに届ける予定です。



マカティ市消防職員が横浜市で 消防・救助技術に関する研修 を受講しました

12 月 3 日～11 日までフィリピン・マカティ市の消防職員を含む 8 名が来浜し、横浜市消防訓練センターにて消防・救助技術に関する研修を受講しました。

マカティ市は、横浜市が参加するシティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）の会員都市であり、今後、市職員や市民を対象とした防災・減災教育訓練施設の設置を予定しています。本市は、マカティ市との間で 3 年間の覚書を締結し、その施設において講師となる危機管理人材の育成に向けた研修を実施するなどの支援を行うことになりました。



覚書に基づいた支援の第 1 回目の研修となった今回は、消防活動の基本や安全管理に関する講義及び実技訓練を行いました。また都筑消防署を訪問し、消防署で日常的に行う消防訓練等を見学しました。